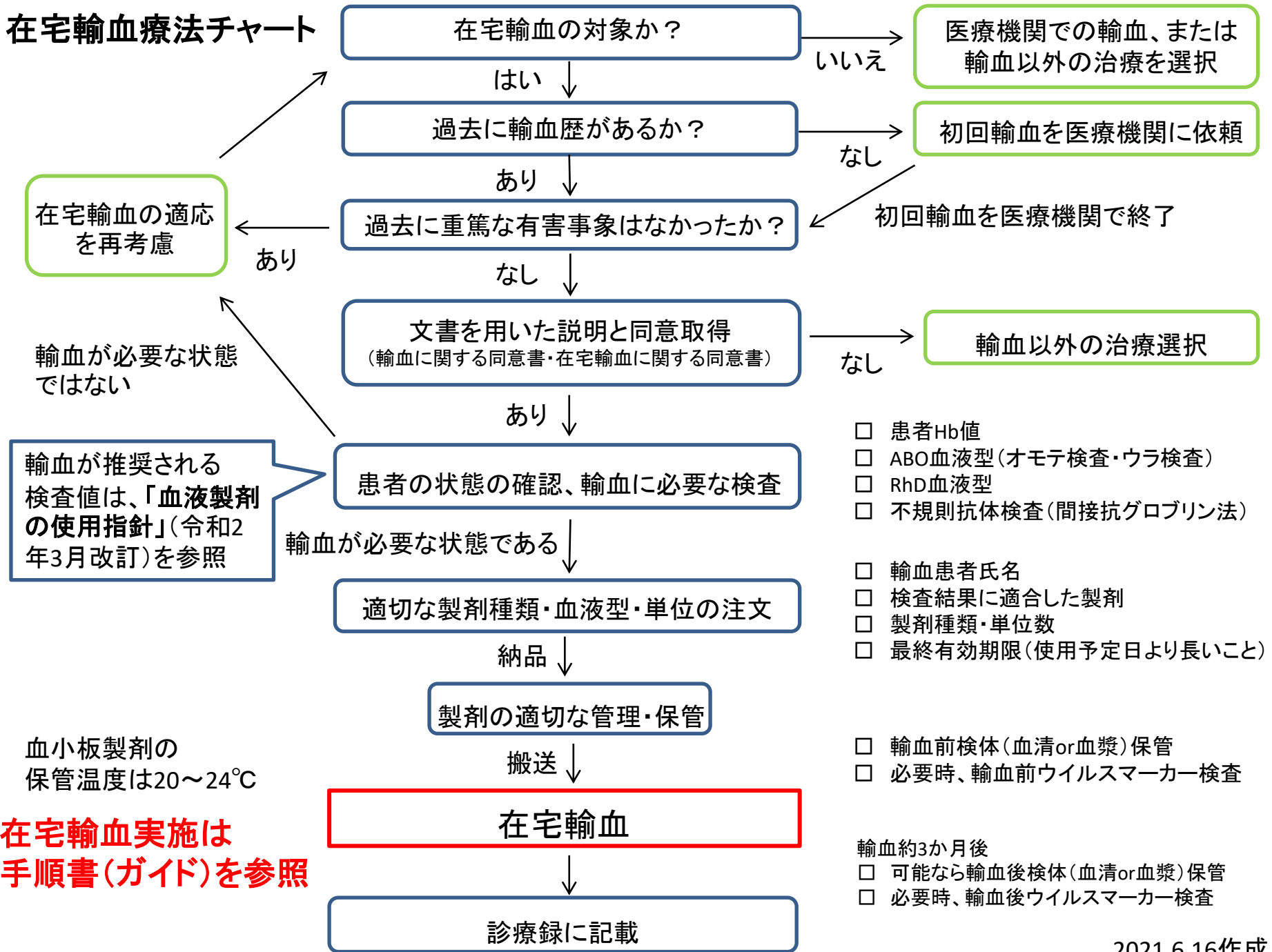


# 在宅輸血療法チャート



在宅輸血の適応を再考慮

あり

輸血が必要な状態ではない

輸血が推奨される検査値は、「血液製剤の使用指針」(令和2年3月改訂)を参照

血小板製剤の保管温度は20~24℃

在宅輸血実施は手順書(ガイド)を参照

医療機関での輸血、または輸血以外の治療を選択

初回輸血を医療機関に依頼

初回輸血を医療機関で終了

輸血以外の治療選択

- 患者Hb値
- ABO血液型(オモテ検査・ウラ検査)
- RhD血液型
- 不規則抗体検査(間接抗グロブリン法)

- 輸血患者氏名
- 検査結果に適合した製剤
- 製剤種類・単位数
- 最終有効期限(使用予定日より長いこと)

- 輸血前検体(血清or血漿)保管
- 必要時、輸血前ウイルスマーカー検査

- 輸血約3か月後
- 可能なら輸血後検体(血清or血漿)保管
  - 必要時、輸血後ウイルスマーカー検査